

7. 青少年健全育成関係 研究助成

(1) 応募件数・助成件数・助成金額推移

年度(西暦)	第1回 1985	第2回 1986	第3回 1987	第4回 1988	第5回 1989	第6回 1990	第7回 1991	第8回 1992	第9回 1993	第10回 1994	第11回 1995	第12回 1996	第13回 1997	第14回 1998	第15回 1999
応募件数(件)	37	38	24	28	22	44	41	46	52	53	46	67	52	37	36
助成件数(件)	12	9	6	5	3	7	8	7	8	4	6	5	6	7	8
助成比率(%)	32.4	23.7	25.0	17.9	13.6	15.9	19.5	15.2	15.4	7.5	13.0	7.5	11.5	18.9	22.2
助成金額(万円)	1380	1000	768	600	420	1000	1000	1000	1000	600	650	550	670	650	650
1件当たり金額(万円)	115	111	128	120	140	143	125	143	125	150	108	110	112	93	81

(2) 地域別応募件数・助成件数

年度(西暦)	第1回 1985	第2回 1986	第3回 1987	第4回 1988	第5回 1989	第6回 1990	第7回 1991	第8回 1992	第9回 1993	第10回 1994	第11回 1995	第12回 1996	第13回 1997	第14回 1998	第15回 1999
中部以東(件)	7 4	13 3	9 3	10 2	2 0	18 2	26 5	24 3	24 4	28 1	19 1	38 1	33 4	22 3	23 4
近畿(件)	3 1	5 1	3 0	9 1	8 2	12 2	7 0	6 0	15 2	11 3	16 2	11 2	5 0	6 3	4 2
中・四国(件)	20 5	11 3	10 3	7 2	4 0	11 2	6 2	14 4	9 2	10 0	6 1	14 2	8 1	5 1	2 1
九州・沖縄(件)	7 2	9 2	2 0	2 0	8 1	3 1	2 1	1 0	4 0	4 0	5 2	4 0	6 1	4 0	7 1
その他(件)	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0						
合計(件)	37 12	38 9	24 6	28 5	22 3	44 7	41 8	46 7	52 8	53 4	46 6	67 5	52 6	37 7	36 8

(3) 領域、分野別応募件数・助成件数

年度(西暦)	第1回 1985	第2回 1986	第3回 1987	第4回 1988	第5回 1989	第6回 1990	第7回 1991	第8回 1992	第9回 1993	第10回 1994	第11回 1995	第12回 1996	第13回 1997	第14回 1998	第15回 1999
教育	16 6	20 6	13 4	14 4	11 1	20 4	19 2	20 3	17 2	20 2	20 2	24 2	20 2	20 3	17 4
福祉(人権)	8 2	4 1	1 0	3 0	3 0	2 1	3 1	7 1	3 1	7 0	3 1	7 0	2 1	2 1	2 1
環境	— —	— —	— —	8 1	4 0	8 1									
社会・文化(文化・市民活動)	5 2	3 1	1 0	2 0	1 0	4 1	2 1	2 1	4 1	5 1	8 1	7 0	1 0	0 0	0 0
健康・安全	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	6 0	7 1	8 1	12 2	9 0	5 1	11 1	6 1	3 0	4 1
体育・スポーツ	7 2	10 1	9 2	7 1	6 1	8 1	7 2	5 0	11 1	8 1	6 1	14 2	10 1	6 2	4 1
国際理解	1 0	1 0	0 0	2 0	1 1	4 0	3 1	4 1	5 1	4 0	4 0	4 0	5 0	2 1	1 0
青少年をとりまく環境	— —	— —	— —	— —	— —	— —									
コミュニティづくり	— —	— —	— —	— —	— —	— —									
ボランティア育成	— —	— —	— —	— —	— —	— —									
科学体験	— —	— —	— —	— —	— —	— —									
前各号に類する分野	— —	— —	— —	— —	— —	— —									
合計	37 12	38 9	24 6	28 5	22 3	44 7	41 8	46 7	52 8	53 4	46 6	67 5	52 6	37 7	36 8

第16回 2000	第17回 2001	第18回 2002	第19回 2003	第20回 2004	第21回 2005	第22回 2006	第23回 2007	第24回 2008	第25回 2009	第26回 2010	第27回 2011	第28回 2012	第29回 2013	第30回 2014	合計
13	6	24	20	23	34	25	42	39	36	34	32	33	26	36	1,046
3	3	4	4	5	5	6	6	7	5	5	5	5	5	5	174
23.1	50.0	16.7	20.0	21.7	14.7	24.0	14.3	17.9	13.9	14.7	15.6	15.2	19.2	13.9	16.6
200	200	300	300	400	400	500	460	550	400	400	400	400	400	400	17,648
67	67	75	75	80	80	83	77	79	80	80	80	80	80	80	101

第16回 2000	第17回 2001	第18回 2002	第19回 2003	第20回 2004	第21回 2005	第22回 2006	第23回 2007	第24回 2008	第25回 2009	第26回 2010	第27回 2011	第28回 2012	第29回 2013	第30回 2014	合計	
															件数	助成比率
5	4	8	9	12	20	15	28	17	21	20	23	13	14	15	520	
1	2	0	0	3	2	2	2	2	3	2	2	1	3	2	67	13%
4	1	8	4	4	5	4	4	11	7	3	2	8	7	6	199	
1	1	2	3	0	1	0	1	2	0	0	1	1	1	1	36	18%
2	1	4	5	5	7	5	9	10	5	7	7	10	4	11	229	
0	0	2	1	2	1	4	2	2	1	2	2	2	1	1	52	23%
2	0	4	2	2	2	1	1	1	3	4	0	2	1	4	80	
1	0	0	0	0	1	0	1	1	1	1	0	1	0	1	17	21%
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
13	6	24	20	23	34	25	42	39	36	34	32	33	26	36	1,046	
3	3	4	4	5	5	6	6	7	5	5	5	5	5	5	174	17%

左肩:応募件数、右脚:助成件数

第16回 2000	第17回 2001	第18回 2002	第19回 2003	第20回 2004	第21回 2005	第22回 2006	第23回 2007	第24回 2008	第25回 2009	第26回 2010	第27回 2011	第28回 2012	第29回 2013	第30回 2014	合計	
															件数	助成比率
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	271	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	47	17%
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	57	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11	19%
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	10%
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	45	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9	20%
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	71	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	11%
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	118	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	19	16%
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	41	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	12%
8	5	15	14	14	19	12	21	21	18	20	19	18	15	21	240	
3	3	2	0	4	2	2	2	2	2	3	3	1	5	3	37	15%
2	1	6	3	0	4	4	5	1	3	4	6	3	2	2	46	
0	0	1	2	0	1	1	1	1	1	1	2	1	0	1	13	28%
0	0	3	3	2	1	3	4	2	3	1	0	1	2	2	27	
0	0	1	2	0	0	2	1	1	0	1	0	0	0	0	8	30%
—	—	—	—	1	6	1	7	7	5	4	4	5	5	6	51	
—	—	—	—	1	1	0	1	1	1	0	0	1	0	0	6	12%
3	0	0	0	6	4	5	5	8	7	5	3	6	2	5	59	
0	0	0	0	0	1	1	1	2	1	0	0	2	0	1	9	15%
13	6	24	20	23	34	25	42	39	36	34	32	33	26	36	1,046	
3	3	4	4	5	5	6	6	7	5	5	5	5	5	5	174	17%

左肩:応募件数、右脚:助成件数

(4)助成一覧

第1回(1985年度)

受付順(以下同じ)

	研 究 題 目	研 究 代 表 者	助成金額 万円
1	情緒障害児短期治療施設 全国11施設の記述比較研究	杉 山 信 作 情緒障害児短期治療施設愛育園園長	120
2	教育キャンプ効果の測定及び健康管理方法の実験的研究	三 浦 清一郎 福岡教育大学教育学部教授	120
3	集団宿泊訓練による青少年教育の研究 -異文化生活体験と国際性の啓培-	瀬 沼 克 彰 (財)日本余暇文化振興会主任研究員	100
4	現代青年とマスコミ-変化する青少年の価値観と若者文化-	千 石 保 (財)日本青少年研究所所長	120
5	青少年健全育成とその指導に関する調査研究-生活経験の幅と量が自己教育力に及ぼす影響について-	安 原 昇 香川大学大学教育開放センター教授	100
6	児童生徒の健全な心と生活を培う教育実践方策に関する研究 -生活規律を形成する家庭と学校の教育連携-	岸 本 幸次郎 広島大学教育学部教授	120
7	非行予防と少年保護に関する調査研究	池 田 寛 大阪大学人間科学部助教授	120
8	児童の身体発育に関する体育生理学的研究	志 村 正 子 鹿屋体育大学助教授	120
9	地域における青少年教育のシステム化に関する基礎的研究	菊 池 龍三郎 茨城大学教育学部助教授	100
10	青少年健全育成事業の活動プログラムに関する研究	池 田 秀 男 広島大学教育学部教授	120
11	青少年の団体活動の教育的機能及び特性に関する実証的研究	黒 田 耕 誠 広島大学学校教育学部教授	120
12	子どもの健全な心身の発育発達とスポーツに関する総合的研究	宮 下 充 正 東京大学教育学部教授	120
合 計		12件	1,380

* 研究代表者の役職は助成決定時のものです。(以下同じ)

第2回(1986年度)

	研 究 題 目	研 究 代 表 者	助成金額 万円
1	青少年問題文献研究-わが国の青少年と青少年育成活動の20年-	上 村 文 三 (社)青少年育成国民会議事務局長	120
2	学校外での青少年の健全育成にはたす教師の役割に関する研究	南 本 長 穂 愛媛大学教育学部助教授	100
3	障害児の発達診断法と指導法に関する研究	片 野 隆 司 広島市児童総合相談センター所長	100
4	両親の価値期待が子供の価値形成に及ぼす効果に関する研究	直 井 優 大阪大学人間科学部助教授	120
5	学校不適応兆候の早期発見とその対策に関する開発研究-"いじめ"問題を中心に-	牧 昌 見 全国教育研究所連盟幹事	120
6	青少年の自主・協同の意識や態度を育てる学校行事「旅」の教育効果測定に関する実証的研究	吉 川 弘 新潟大学教育学部教授	110
7	感性の開発による青少年仲間づくりの方法に関する実験的研究	片 岡 徳 雄 広島大学教育学部教授	100
8	学校教育における生涯体育のカリキュラム開発に関する研究-生涯保健行動に役立つ教育教材作成の試み-	谷 口 幸 一 鹿屋体育大学体育学部助教授	110
9	児童生徒の精神的健康を培う教育臨床的研究-"悩みの整理箱"イメージ法による実践と効果測定-	村 山 正 治 九州大学教育学部助教授	120
合 計		9件	1,000

第3回(1987年度)

	研 究 題 目	研 究 代 表 者	助成金額 万円
1	登校拒否児にたいするキャンプ療法の効果に関する実験的研究	飯 田 稔 筑波大学体育科学系助教授	150
2	子ども会におけるスポーツ活動の意義と役割に関する研究	守 能 信 次 中京大学体育学部教授	100
3	青少年のライフスタイルと精神的健康に関する研究	森 谷 梨 北海道大学教育学部助教授	150
4	青少年の未来認識に関する基礎的研究	山 本 多 喜 司 広島大学教育学部長	98
5	青少年の健全育成をめざす学校環境のあり方に関する研究	溝 西 護 広島県立教育センター所長	150
6	青少年の郷土意識と国際意識の相関に関する研究	斎 藤 清 三 生涯教育研究所副代表理事	120
合 計		6件	768

第4回(1988年度)

	研 究 題 目	研 究 代 表 者	助成金額 万円
1	新人研修にみる学生・生徒文化の特質と職場組織の側の対応に関する研究	岩 木 秀 夫 国立教育研究所第2研究部第2研究室室長	100
2	体育における学習意欲の診断と開発に関する研究	西 田 保 名古屋大学総合保健体育科学センター助教授	120
3	高校中退生徒の在学中の意識構造の特徴と予防的指導法の開発研究	金 子 照 基 大阪大学人間科学部教授	150
4	生徒指導と青少年健全育成の連携に関する研究－少年補導センターの教育相談機能を中心として－	石 田 美 清 広島経済大学講師	110
5	青少年の交通安全教育のシステム化に関する研究－生涯教育の中での意義と位置づけを中心として－	西 山 啓 広島大学学校教育学部教授	120
合 計		5件	600

第5回(1989年度)

	研 究 題 目	研 究 代 表 者	助成金額 万円
1	家庭と学校の連携をはかる交通安全教育のカリキュラム開発を目的として	水 越 敏 行 大阪大学人間科学部教授	140
2	青少年のスポーツ・コミットメントの形成とスポーツ行動の継続化に関する研究	金 崎 良 三 九州大学健康科学センター助教授	130
3	青少年のための国際理解教育の理念と将来像に関する研究	石 附 実 大阪市立大学文学部教授	150
合 計		3件	420

第6回(1990年度)

	研 究 題 目	研 究 代 表 者	助成金額 万円
1	国際理解のためのGlobal Educationに関する教材開発について	辻 弘 兵庫教育大学学校教育研究センター長	150
2	子どもの祭りや行事の伝承とその人間形成的機能について	小 川 博 久 東京学芸大学教授	100
3	高学歴化社会における大学非進学者のライフコース研究	麻 生 誠 大阪大学人間科学部教授	130
4	地域社会における発達障害児の治療教育に関する研究	財 部 盛 久 琉球大学教育学部助教授	160
5	登校拒否の国際比較に関する調査研究－日本と北米の各事例及び在北米邦人子弟と日系人子弟の各事例の相互比較－	稲 村 博 筑波大学社会医学系助教授	160
6	青少年の健全育成に対するテレビメディアの有効活用	清 水 凡 生 広島大学教育学部教授	160
7	ジュニア・スポーツ選手に対するサポート・システムの開発	笹 原 英 夫 広島経済大学講師	140
合 計		7件	1,000

第7回(1991年度)

	研 究 題 目	研究代表者	助成金額
1	スポーツ指導者養成システム(カリキュラム)の日米比較研究	渡部 和彦 広島大学教育学部助教授	万円 100
2	スポーツ青少年のドーピング対策に関する基礎的調査研究	長尾 愛彦 鹿屋体育大学教授	100
3	高等学校「中退」問題と青年の進路意識に関する総合的研究	芥藤 利彦 学習院大学文学部助教授	130
4	登校拒否児の社会的自立に関する研究	一丸 藤太郎 広島大学教育学部助教授	130
5	帰国子女と一般児童・生徒の相互啓発の教育に関する実証的研究ー「教室の国際化」の可能性の検討ー	佐藤 郡衛 東京学芸大学海外子女教育センター助教授	100
6	知的ハンディキャップを持つ青年たちの福祉教育の内容と福祉活動のあり方についてー養護学校卒業生、19才から49才までの30年間の縦断的追跡調査を基にー	堅田 明義 東京学芸大学附属養護学校長	150
7	青少年の健全育成のためのスポーツ活動のあり方についてー心理的側面からの検討ー	米川 直樹 三重大学教育学部助教授	140
8	母親の生き方が子どもの生育におよぼす影響についての基礎的研究ーとくに子どもを産みながらいない女性の増加という最近の傾向との関係でー	山崖 俊子 津田塾大学学芸学部助教授	150
合 計		8件	1,000

第8回(1992年度)

	研 究 題 目	研究代表者	助成金額
1	児童のためのストレス・マネジメント教育の試み	竹中 晃二 岡山大学教育学部助教授	万円 180
2	ノートパソコンを用いた、言葉のない発達障害児者のための会話エイトの開発と指導法に関する研究	伊藤 英夫 東京学芸大学附属特殊教育研究施設講師	140
3	乳幼児の人格形成と母子の情緒的交流ー特に人格育成要員としての情動調律行動の研究ー	馬場 禮子 東京都立大学人文学部教授	130
4	青年理論の矛盾と解決のためのミニ・モデルの提案ーアイデンティティ形成と親子関係の観点からー	久世 敏雄 名古屋大学教育学部教授	170
5	マンガの青少年に与える影響に関する実態調査ー「有害コミック」を中心にしてー	片岡 徳雄 広島大学教育学部教授	120
6	地域社会における子どもの遊び環境アセスメントと親子の体験プログラムの開発	南 博文 広島大学教育学部助教授	110
7	公立学校教師の外国人子弟に対する意識と公立学校に在籍する外国人子弟が日本人児童・生徒の国際理解に及ぼす効果に関する調査研究	小野 由美子 広島中央女子短期大学助教授	150
合 計		7件	1,000

第9回(1993年度)

	研 究 題 目	研究代表者	助成金額
1	青少年の健康な心身発達に及ぼす食行動の影響についての基礎的研究	根ヶ山 光一 武庫川女子大学助教授	万円 140
2	青年の消費者意識の形成に寄与するプログラムの開発ー実践的試行を通してー	鶴田 敦子 山形大学教育学部教授	140
3	構造化面接を用いた青年期の非行とシンナー依存の研究	妹尾 栄一 (財)東京都精神医学総合研究所主任研究員	140
4	中南米からの日系外国人労働者の子弟と日本人児童との交流に関する研究	児玉 克哉 三重大学人文学部助教授	100
5	車椅子常用青少年のスポーツ活動が行動及び心理におよぼす影響について	山崎 昌廣 広島大学総合科学部助教授	100
6	難読児の心理言語学的診断と教育効果の縦断的研究	山田 純 広島大学総合科学部助教授	100
7	自然の教育力の発掘と学校教育および家庭教育への活用に関する研究	伊沢 紘生 宮城教育大学教授	140
8	幼児の健全育成における統合保育の効果	蔭山 英順 名古屋大学教育学部教授	140
合 計		8件	1,000

第10回(1994年度)

	研究題目	研究代表者	助成金額
1	運動不適應症候群の教育的解決に資する実践的研究－小学校教育における活動内容の体系化の試み－	三野 耕 兵庫教育大学教授	万円 150
2	小・中学生における日常生活と生活時間の変容に関する調査研究－都市・農村・山村・漁村における子どもを対象として－	藤本 浩之輔 京都大学教育学部教授	150
3	情報化が若者の交友関係ネットワークに及ぼす影の研究－電子メディアの創り出す新しい人間関係－	木下 富雄 摂南大学経営情報学部教授	150
4	青年が先生から受けた感動体験の内容およびその機能に関する研究	速水 敏彦 名古屋大学教育学部教授	150
合計		4件	600

第11回(1995年度)

	研究題目	研究代表者	助成金額
1	子供たちの自然体験・生活体験活動等に関する調査研究	斎藤 哲瑯 川村学園女子大学教育学部助教授	万円 100
2	地域社会に生きる障害児の余暇の使い方に関する研究	南出 好史 福岡教育大学教育学部教授	150
3	児童生徒の身体活動量と骨密度に関する研究	岡田 徹榮 鹿屋体育大学体育学部講師	100
4	小学生を対象としたライフスキルトレーニング	川畑 徹朗 神戸大学発達科学部助教授	100
5	知的障害を持った生徒への地域社会生活技能の指導に関する実践的研究－自閉症生徒における指指導システムの開発と学校との連携について－	井上 雅彦 兵庫教育大学学校教育学部附属障害児教育実践センター助手	100
6	「まちづくり」にみる国際交流及び世代間交流のネットワーク分析－社会人類学からのアプローチ－	嶋 陸奥彦 広島大学総合科学部教授	100
合計		6件	650

第12回(1996年度)

	研究題目	研究代表者	助成金額
1	幼児期の災害ストレスに対するマネジメント研究－就学前から就学後にかけての精神的健康に災害が及ぼす影響－	小花 和尚子 四條畷学園女子短期大学講師	万円 100
2	中学校における「いじめ」・「不登校」に関する実践的指導の開発研究	渡邊 満 兵庫教育大学学校教育学部教授	150
3	青少年の筋機能・自律神経系機能の発達に関する研究－その適正水準の検索と日常の運動習慣の効果について－	福場 良之 広島女子大学生活科学部助教授	100
4	理知的判断思考、意思決定能力の育成を図る科学学習プログラムの開発	長洲 南海男 筑波大学教育学系教授	100
5	青少年スポーツ活動の活性化のための基礎的研究	東川 安雄 広島大学学校教育学部教授	100
合計		5件	550

第13回(1997年度)

	研究題目	研究代表者	助成金額
1	青少年の攻撃性の心理社会的要因－特に他者の感情の認知能力との関連を中心に－	森田 展彰 筑波大学社会医学系講師	万円 120
2	不登校児の指導におけるメンタル・フレンドと学校との連携に関する実践的研究－新しい教育臨床のあり方を求めて－	酒井 朗 お茶の水女子大学文教育学部助教授	100
3	若年層スポーツ選手の外傷・障害の予防のためのガイドラインの作成	竹中 晃二 早稲田大学人間科学部教授	100
4	障害を抱える青少年の進路指導を促進するための小学校・中学校及び卒業生の対人的ネットワークの構築に関する研究	石津 充 広島大学附属東雲中学校教諭	100
5	地域社会における子どもたちの「居場所」と対人関係ネットワークの形成	住田 正樹 九州大学教育学部教授	150
6	青年の差別意識についての教育心理学研究－日本人学生とアジア系留学生の「鏡」イメージ－	伊藤 武彦 和光大学人間関係学部助教授	100
合計		6件	670

第14回(1998年度)

	研究題目	研究代表者	助成金額 万円
1	科学クラブの活動に基づいた探究活動・課題研究の構造的理解－教科活動に有効に機能する『生徒の問題意識に根ざした探求心を促す課題研究教材』の開発をめざして－	山下美樹 弘前大学教育学部助教授	120
2	ニューカマーの子どもたちに対する母語教育の研究－多文化共生の社会へ向けて－	志水宏吉 東京大学大学院教育学研究科助教授	80
3	学校運動部改革のための基礎的研究－中学校、高等学校及び大学における魅力ある部活動を求めて－	中比呂志 京都教育大学教育学部助教授	90
4	青少年のスポーツ不安に関する実証的研究	藤井義久 岩手県立大学看護学部講師	80
5	若年ドライバーからみた高齢者への意識態度とくま社会における共生に関する研究－新しい交通安全教育の試み－	西山啓 比治山大学副学長	100
6	「ふつう」の中学生が「キレル」ということに関する心理学的研究－衝動性コントロールと衝動性誘発環境の観点からの検討－	齊藤誠一 神戸大学発達科学部助教授	100
7	学校における福祉教育・ボランティア学習に関する調査研究－福祉教育プログラムの開発に向けて－	長谷川豊 京都府立大学福祉社会学部講師	80
合計 7件			650

第15回(1999年度)

	研究題目	研究代表者	助成金額 万円
1	公共体育・スポーツ施設の在り方に関する調査研究－青少年のスポーツ活動の実態およびスポーツ障害の発生状況について－	友末亮三 安田女子大学文学部助教授	120
2	「社会的迷惑認知」を教育する－中学校総合学習への導入－	吉田俊和 名古屋大学教育学部教授	60
3	障害児の人権侵害の実態とアドヴォカシー(権利擁護)システムの構築－養護学校・特殊学級における障害児への体罰問題を中心に－	高橋智 東京学芸大学教育学部助教授	80
4	子どものメンタルヘルスの発達的特徴と援助に関する研究	藤生英行 筑波大学学校教育学部助教授	100
5	精神遅滞者を対象とした社会教育プログラムの開発－余暇活動を中心に－	服部伸一 関西福祉大学社会福祉学部講師	40
6	青少年の「健康度・生活習慣診断検査」の作成に関する研究	徳永幹雄 九州大学健康科学センター教授	100
7	主体的に生きる大学生の心理構造と居場所の構造－学生の主体的生き方につながる教育実践を目指して－	溝上慎一 京都大学高等教育教授システム開発センター助手	70
8	母親のパーソナリティが子どもの運動遊びの変容と後の性格形成に及ぼす影響	井上則子 津田塾大学芸学部助教授	80
合計 8件			650

第16回(2000年度)

	研究題目	研究代表者	助成金額 万円
1	知的障害児者のための地域活動支援プログラムの開発に関する実践的研究	井澤信三 兵庫教育大学学校教育学部助手	85
2	子どもの「感動」「感性」に関する調査研究	斎藤哲瑯 川村学園女子大学教育学部教授	60
3	青少年の規範意識の獲得と地域の通過儀礼(祭・行事・掟・きまり等)に関する研究	古市勝也 九州女子短期大学短期大学教授	55
合計 3件			200

第17回(2001年度)

	研究題目	研究代表者	助成金額 万円
1	個別教育計画(IEP)を用いた不登校児童生徒への支援に関する実践的研究	辻河昌登 兵庫教育大学学校教育学部講師	80
2	中学校クラブ活動/部活動の顧問－生徒関係に関する社会学的研究－生徒対象アンケート調査と教師対象インタビュー調査をもとに－	西島央 東京大学大学院教育学研究科助手	50
3	子どもの「感動」に関する調査研究	斎藤哲瑯 川村学園女子大学教育学部教授	70
合計 3件			200

第18回(2002年度)

	研究題目	研究代表者	助成金額
1	「子ども達の認知発達とサブカルチャーの関係理解」を支援する保護者と教師のための自主研修プログラムの開発及び評価研究	小柳 和喜雄 奈良教育大学教育学部助教授	万円 70
2	ボランティア活動に対するネガティブ要因払拭の研究－学生ボランティア未経験者と社会のボランティアに対する意識調査を通じて－	栗屋 仁美 比治山大学短期大学部講師	70
3	中学生を対象とした「保育体験プログラム」の作成と評価に関する実践的研究	七木田 敦 広島大学大学院教育学研究科助教授	70
4	サタデースクールにおける子どものプロジェクト学習と学びのコミュニティづくり－NPO法人ニュースクール・センターの実践生成過程を事例にして－	山住 勝広 関西大学文学部助教授	90
合計 4件			300

第19回(2003年度)

	研究題目	研究代表者	助成金額
1	慈善活動に参加する青少年ボランティアの利他的精神の発達とスピリチュアリティに関する社会学的研究	稲場 圭信 神戸大学発達科学部助教授	万円 100
2	応用数学を意識した『総合的な学習』の時間のための教材開発と地域貢献活動としての授業実践に関する研究	伊藤 昭夫 近畿大学工学部講師	70
3	学びのコミュニティとしての課外活動の可能性－教育資源としての大学を核とした新しい地域づくり－	高橋 登 大阪教育大学教育学部助教授	80
4	高校生によるボランティア活動が自身の性感染症・保健行動に及ぼす効果について－地域におけるエイズ・ボランティア活動の実践と効果－	中村 安秀 大阪大学大学院人間科学研究科教授	50
合計 4件			300

第20回(2004年度)

	研究題目	研究代表者	助成金額
1	自立型の共生をめざして－藤沢市における外国人児童・生徒の教育・学習環境整備－	古石 篤子 慶應義塾大学総合政策学部教授	万円 100
2	“現代っ子”の咬合力および咀嚼筋発達と生活環境の関係について－特に身体活動に関わる環境の影響について－	佐藤 広徳 広島工業大学工学部助教授	70
3	市民参加型の体験学習(サイエンスワールド)を通しての理科離れ、数学離れに関する調査研究	大和田 正明 山口大学理学部助教授	70
4	子どものコミュニケーション能力を育てる教育心理学実践－大学生ボランティアによる活動の検討－	中西 良文 三重大学教育学部講師	90
5	教育委員会・学校・大学が連携した「健全育成くしろ子どもプラン」の推進方策と評価の研究－アクションリサーチを用いた啓発実証－	玉井 康之 北海道教育大学教育学部助教授	70
合計 5件			400

第21回(2005年度)

	研究題目	研究代表者	助成金額
1	「父親の育児参加」－「おやじの会」の実践を分析対象にして－	橋本 鉦市 東北大学大学院教育学研究科助教授	万円 90
2	「総合型地域スポーツクラブ」設立と地域づくりに関する研究－地域スポーツが生む地域社会の活力と再生の可能性－	曾根 幹子 広島市立大学国際学部助教授	90
3	科学に対する興味・関心と科学的創造性の両者を損なうことなく、統合的に発展させるための科学体験プログラムの開発・評価	山口 悦司 宮崎大学教育文化学部助教授	80
4	現代青年のアイデンティティ形成のための心理教育プログラムの開発と整備、およびプログラム指導者の育成	西村 馨 国際基督教大学所員	70
5	学校・家庭・地域の協働における「参加」に関する研究	渥美 公秀 大阪大学コミュニケーションデザイン・センター助教授	70
合計 5件			400

第22回(2006年度)

	研 究 題 目	研究代表者	助成金額
1	お遍路参加による小中学生の心理的変容－ストレス耐性に着目して－	神藤貴昭 徳島大学大学開放実践センター助教授	万円 90
2	大学における知的障害者の余暇支援活動と生涯学習支援－より豊かな生活を保障するために－	西村愛 東北文化学園大学医療福祉学部専任講師	70
3	「ユースワーカー」の養成・研修プログラムの開発に関する実践的研究	宮崎隆志 北海道大学大学院教育学研究科教授	110
4	青少年のボランティア涵養のためのボランティア教育プログラムの開発と評価に関する研究	立石宏昭 広島文教女子大学人間科学部助教授	70
5	教員志望の大学生の学びのコミュニティ形成の支援に関する研究－大学を利用した教育的地域貢献活動の実践と評価－	石井眞治 広島大学大学院教育学研究科教授	100
6	青少年を対象としたボランティア学習プログラムの開発～障害児支援活動に着目して～	藤田久美 山口県立大学社会福祉学部助教授	60
合 計			500

第23回(2007年度)

	研 究 題 目	研究代表者	助成金額
1	河川環境モニタリングを取り入れた地域住民主体の児童対象環境学習プログラムの開発	原口昭 北九州市立大学国際環境工学部教授	万円 80
2	科学体験活動普及に向けた市民・行政・教育機関一体型のコミュニティ形成と実践によるその評価－科学教育都市・東広島の実現に向けて－	伊藤昭夫 近畿大学工学部准教授	80
3	青少年自然体験活動リーダーのリスク知覚能力の評価とリスクマネジメント能力向上トレーニングの開発に向けての研究	甲斐知彦 関西学院大学社会学部准教授	85
4	青少年の健全育成のための、地域的社会的支援についての検討－育児に関する母親と保育士の心理学的適応に着目して－	西村太志 広島国際大学心理科学部講師	70
5	各年齢期の「自然体験活動における達成すべき課題」に関する研究～発達段階別の自然体験活動プログラムに着目して～	松村純子 独立行政法人国立青少年教育振興機構国立信州高速 青少年自然の家事業推進課長	70
6	創造的表現を促進するための美術館展示の開発とその効果の検討	岡田猛 東京大学大学院教育学研究科准教授	75
合 計			460

第24回(2008年度)

	研 究 題 目	研究代表者	助成金額
1	インバースマニファクチュアリングを効果的に教えるための教材開発とその評価	紅林秀治 静岡大学教育学部准教授	万円 70
2	ボランティア育成を核とした地域連携型キャリア教育プログラムの開発	河崎智恵 奈良教育大学教育学部准教授	100
3	大学生の地域コミュニティ活動への参加意義・効果に関する研究－単身大学生の社会生活ルール習得の場として－	清水陽子 奈良女子大学社会連携センター特任助教	70
4	品性・品格を育む教材の教師による評価の分析	青木多寿子 広島大学大学院教育学研究科准教授	100
5	発達障害者の自立実現に必要なスキルと地域環境の解明－学生ボランティアと研究者による協働研究－	小島道生 長崎大学教育学部准教授	60
6	青少年への包括的支援のためのニーズ調査と支援の試行、結果評価	北村文昭 青山学院大学文学部教授	100
7	大学生における、小学校児童へのピア・サポート・トレーニングの実施を通しての自己理解と対人援助能力の発達	三宅幹子 福山大学人間文化学部准教授	50
合 計			550

第25回(2009年度)

	研 究 題 目	研究代表者	助成金額
1	児童・生徒の学校外での自発的・継続的な学習を促進する科学体験プログラムの開発	内ノ倉 真吾 静岡大学教育学部助教	万円 85
2	地域の高校生を対象としたアントルプレナーシップ育成のための教育モデル、普及システムの探究	飯 盛 義 徳 慶應義塾大学総合政策学部准教授	85
3	不登校経験を持つ児童生徒へのソーシャルスキルトレーニングを用いたキャリア支援プログラムー適応指導教室での実践ー	杉 田 郁 代 環太平洋大学次世代教育学部講師	60
4	アメリジアンスクール・イン・オキナワにおける青少年健全育成を目的としたビデオワークショップ事業	野 入 直 美 琉球大学法文学部准教授	80
5	建物と運用組織・制度の関係から捉える社会教育施設の“居場所の機能”に関する社会学的研究ー部活動と社会教育施設の連携に向けてー	西 島 央 首都大学東京大学院人文科学研究科准教授	90
合 計 5件			400

第26回(2010年度)

	研 究 題 目	研究代表者	助成金額
1	高等学校の文化系部活動におけるボランティア学習に関する実証的研究ーインターアクトクラブを事例とした検討ー	林 幸 克 岐阜大学大学院教育学研究科准教授	万円 70
2	滞日日系ブラジル人児童生徒の進路決定支援の試み	谷 渕 真 也 比治山大学現代文化学部助教	100
3	被虐待児の社会的自立に向けた健全育成のための地域連携に関する社会学的考察	蓮 尾 直 美 三重大学教育学部教授	70
4	NPO,大学,行政,市民の連携による中高生の居場所形成に関するアクション・リサーチ	南 博 文 九州大学教育学部教授	70
5	ヒロシマ型平和教育プログラムの開発と評価	沖 林 洋 平 山口大学教育学部講師	90
合 計 5件			400

第27回(2011年度)

	研 究 題 目	研究代表者	助成金額
1	社会貢献活動に対する学びの支援と活動がもたらす成長の教育学的視点からの実証	上 杉 賢 士 千葉大学教育学部教授	万円 80
2	学校と地域コミュニティおよび警察が連携した青少年の危険行動防止プログラムの有効性に関する研究	辻 本 悟 史 神戸大学大学院人間発達環境学研究科准教授	90
3	子どもをネット毒牙から守るネットリスク教育のカリキュラム開発	大 谷 良 光 弘前大学教育学部教授	90
4	外国人児童生徒分散地域における学校-大学-行政の協働による教育支援ネットワークの構築	南 浦 涼 介 山口大学教育学部講師	70
5	「子どもの発達・成長に対する『社会的居場所』の役割と効果に関する研究」	田 中 聡 子 県立広島大学保健福祉学部講師	70
合 計 5件			400

第28回(2012年度)

	研 究 題 目	研究代表者	助成金額
1	万引き防止教育プログラムの開発および効果の検証	大久保 智 生 香川大学教育学部准教授	万円 70
2	青年期女性の”適切ではない自己表現”に関する研究	吉 村 麻 奈 美 津田塾大学学芸学部講師	80
3	家庭における科学教育推進のための保護者参加型教室プログラムの開発と評価	山 中 仁 昭 広島国際大学工学部助教	90
4	社会教育領域における長期の青少年健全育成事業に特有の教育力に関する研究	立 石 麻 衣 子 NPO法人北摂子ども文化協会日本子ども未来研究所主任研究員	90
5	糸島地区における学生と地域の連携による空き家活用に関する実証的研究	横 田 雅 紀 九州大学大学院工学研究院助教	70
合 計 5件			400

第29回(2013年度)

	研 究 題 目	研 究 代 表 者	助成金額
1	感情のコントロールが困難な学生に対する認知行動療法的スキルトレーニングプログラムの効果の検証—STEPPSの実施可能性と有効性に関する研究—	藤 里 紘 子 筑波大学人間系特任助教	万円 80
2	大学生を対象とした子育て・子育て支援への参加学習プログラムの開発	深 作 拓 郎 弘前大学生涯学習教育研究センター講師	90
3	若者の親認識変容プログラムの開発と効果測定	大 島 聖 美 広島国際大学心理科学部助教	70
4	体験活動における「あこがれ」の構造が青少年の自己肯定感の向上や学びを促進する仕組みの分析と考察	谷 崎 誠 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立大雪青少年交流の家主任	80
5	青少年のエンパワーメントとパフォーマンス・アーツの関係について—計量経済学からのアプローチ—	富 田 大 介 大阪大学大学院国際公共政策研究科特任助教	80
合 計		5件	400

第30回(2014年度)

	研 究 題 目	研 究 代 表 者	助成金額
1	対人不安症状に対する複数のヒト型ロボットを用いた集団療法	熊 崎 博 一 福井大学子どものこころの発達研究センター特命助教	万円 90
2	他者への親切行為が青少年の精神的健康および生活の質に及ぼす影響の実践的検証	前 原 由 喜 夫 長崎大学教育学部准教授	90
3	小規模グループケアにおける職員の人材育成モデルの構築	岡 本 晴 美 広島国際大学医療福祉学部准教授	70
4	発達障害を有する子どもの食行動の困難と健康・発達支援に関する研究	田 部 絢 子 大阪体育大学健康福祉学部専任講師	70
5	子どもの成長発達とソーシャル・キャピタルの関係に関する実証研究	山 下 絢 日本女子大学人間社会学部専任講師	80
合 計		5件	400